

まず内容パーツを確認してください。

1:インナーチューブ 左右区別無し 2本

シグナスX SE44J SE465に適合致します。

2:オイルピースロック 左右区別無し 2個

3:ダンパーロッド 2本

4:スプリング 2本

5:ボルト／ガスケット 2セット

6:フォークスプリング 2本

7:キャップボルト 2個



フロントホイール・フロントフォーク左右を外す為、車体を安全な場所に確実に固定して、フロントホイールを浮かせてください。

使用する工具類・油脂・交換する必要がある場合は純正パーツ等を用意してください。

フォークオイル カヤバ品番 10W
 フォークオイル 量 片側 1本当たり容量 102cc

純正パーツの有無 交換に使用するインナーチューブの程度により
 ダストシール・インナーオイルシール等

必要工具類 1:ヘキサゴンレンチ 8mm
 2:Cリングを外す小さな⊖ドライバー
 3:キャップボルトを押す為の大きな⊕ドライバー代用可能
 キャップボルトを回す為の17mmヘキサゴンレンチ
 車両形式等により違います。
 4:インナーチューブに塗る為のグリス適量
 5:ホイール・フォーク脱着の必要工具類



まず最初にフォークを取り外す前に、アウターチューブ下のドレンボルト緩めておくと後の作業が大変スムーズに行えます。



年式・形式等によりフォークの脱落防止の為、インナーチューブ上部に固定している車両もあります、まず小さいドライバー等により取り外してください。

左右車両三又に取り付いている状態にて、取り外し作業になります。この部分が17mmのヘキサゴンの場合は、車両に付いている状態にて緩める作業をしておくと後の作業が非常に楽に進みます。

この2点の作業が終了したら、車両よりフロントフォーク左右取り外す作業を始めてください。



フォークの取り外しが出来たら、キャップボルトを外しフォークスプリングを取り外す作業、下のドレンボルトを外して中のオイルを抜いて下さい。



次にダンパーロッド、スプリング、オイルピースロックを外し、新しいフォークキットを組み付けるアウターチューブを清掃してください。

この商品群は組み付ける商品のイメージですが、純正フォークに組み込まれている部品を取り外してください。

組み付け行程

各パーツの再使用パーツの洗浄が済みましたら、組み付けていきます。



アウターチューブに対しオイルピースロックをこの方向に挿入します。
注) 逆に入れるとダンパーロッドが入りません。



次に新しいインナーチューブにダンパーロッド・バネ（方向無し）を組み付けインナーチューブに挿入します。



次にアウターチューブに、この組み付けたチューブを挿入します。挿入する際はインナーチューブ挿入部分にオイル・グリス等を塗り、フォーク内オイルシールを傷つけない様に、ゆっくり挿入します。一杯まで入ったらドレンボルト・ガスケットにて締め付けてください。

ダンパーピストン締め付けトルク・・・30N

注) 純正のサービスマニュアルでは、ダンパーピストンを止めるシリンダボルトの締め付けの際、SSTにてピストンを固定して下のボルトを規定トルクにて締めつけると記載されています。当社ダンパーピストンは、通常の筒状のタイプと全く違い、樹脂のホルダーにディスクバルブを固定する為に穴あきの細いボルトにて固定しています。純正マニュアルの様に、このボルトを固定して、下のシリンダーボルトを締め付けますと、簡単にこのボルトは折れてしまいます。このボルトを固定しての締め付けは出来ませんので、注意して作業を行ってください。

ドレンボルトの締め付けが確認出来たら、指定番数のオイルを規定量静かに入れてください。
 (注 勢いよく入れると泡が発生してしまい、この後のエア抜き作業にて苦勞します。)

入れ方ですが、アウターチューブを上向きに固定してインナーチューブをフルボトムの状態にて指示規定量102cc入れます。
 オイルを注入している間は、フォーク本体を垂直に立てて置く。

次の作業は手を抜くとフォークの減衰力の性能が全く発揮されなくなってしまうエア抜き作業です。

アウターチューブをしっかり垂直に固定して、インナーチューブをゆっくり上下させます。上下させるスピードに規定はありませんが、インナーチューブを上下させている時、オイルが移動するときの、チューと言う音が出ないスピードにて上下させます。
 エア抜きの完了は、インナーチューブ上部よりフォークオイルを見てエア噛みがいなくなったら、エア抜き作業は終了です。
 2本目の他のフォーク本体もエア抜き作業を終了させてください。

左右フォークに、フォークスプリングを組み付けます。

その時インナーチューブを上部に引っ張り出しておいてから、スプリングを挿入します。

(注:引っ張り出しが足りないとスプリングの容積にてオイルが溢れます。)

フォークスプリングは純正の不等ピッチに対し直巻きスプリングですので、上下の方向はありません。

当社フォークキットのキャップボルトはCリング等はありません。

フォークスプリングの反発がありますが、インナーチューブを手で固定して、押しつけながらキャップボルトのOリングにグリスを塗り、締め付けしてください。

キャップボルト締め付けトルク 4 5 Nm

オイル漏れ・動作チェック等を行いOKでしたら、車両に取り付けしてください。

取り付けに関しては、取り外しの逆の作業になりますが、締め付ける部分によりトルクにて管理されている部分があります。

ロアーブラケット ピンチボルト	2 3 Nm
フロントフォークキャップボルト	4 5 Nm
キャリパーサポート ボルト	4 9 Nm
フロントホイールアクスル	7 0 Nm